

# ゲンティン(GENT)

## シンガポールの新複合施設・水族館開業、マレーシアの「Visit Malaysia 2026」、米国でカジノ施設拡張案が承認

### マレーシア | 宿泊施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG GENT:MK | REUTERS GENT:KL

- 2025/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比14.3%増、調整後EBITDAが6.9%減。レジャー・ホスピタリティが堅調も通貨高が利益を圧迫。
- シンガポールの新複合施設や水族館の開業、マレーシア政府による「Visit Malaysia 2026」の国家キャンペーンなどの追い風が見込まれる。
- 米国でニューヨーク市によるカジノ施設の入札でJFK国際空港の近くの「リゾート・ワールド」拡張案が承認を受けた。

#### What is the news?

11/27発表の2025/12期3Q(7-9月)は、売上高が前年同期比14.3%増の74.78億MYR、調整後EBITDAが同6.9%減の21.57億MYR、税引き前利益が同26.0%減の6.38億MYRだった。主力のレジャー・ホスピタリティ部門では、マレーシアが好調だったほか、シンガポールの非ゲーミング部門における来場者数の増加が増収に寄与した。利益面では、マレーシア・リンギットの通貨高に伴う外国為替換算差損益の悪化が響き海外事業の業績が圧迫され、EBITDA減益の主要要因となった。前四半期比は、売上高が10.2%増、調整後EBITDAが3.4%増だった。

3Qの主なセグメント別の調整後EBITDAは以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門は前年同期比28%増の18.58億MYR。その内の主要な内訳は、マレーシアが28%増の8.10億MYR、シンガポールが35%増の7.59億MYR、米国・バハマが横ばいの2.01億MYRに対し、英国・エジプトが17%減の0.86億MYR。②プランテーション部門は2%増の2.04億MYR。③電力部門は23%増の1.23億MYR。④石油・ガス部門が30%減の0.63億MYRとなった。

#### How do we view this?

シンガポールでは、観光地であるセントーサ島で展開する統合型リゾート(IR)「リゾート・ワールド・セントーサ(RWS)」で7月にRWS内に新複合施設「ウィーブ(WEAVE)」およびシンガポール水族館オープンした。さらに、10月にはRWS内に米マリオット・インターナショナルの高級ホテル「ラウルス」を開業と、複数年にわたる園内の「トランスフォーメーション」が進んでいる。

マレーシアでは、「Visit Malaysia 2026」と称し、マレーシア政府が2026年をターゲット年としてマレーシアを世界有数の観光地とすべく大規模な国家キャンペーンを実施する。ゲンティン・マレーシアはこのキャンペーンに積極的に協力し、マレーシアの「リゾート・ワールド・ゲンティン」がキャンペーンの主要拠点として位置づけられる見通しだ。

米国・バハマではゲンティン・マレーシアがニューヨークにおける3箇所のカジノ施設の入札に関し、そのうちの1箇所について12/1、ニューヨークの当局がJFK国際空港の近くで採掘するスロットマシンに特化した施設「リゾート・ワールド」を拡張する提案(33億ドルを投入)が承認された。最終審査を経ライセンス発行が見込まれている。

プランテーション部門では、原油安の影響でパーム油価格が低迷する傾向にあるものの、インドネシアやマレーシアにおけるバイオディーゼル義務の強化に伴う需要増から価格推移の安定化が期待される。

#### 業績推移

※参考レート 1MYR=37.923円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高(百万MYR)	22,383	27,112	27,714	28,145	29,909
当期利益(百万MYR)	-300	929	883	636	913
EPS(MYR)	-0.08	0.24	0.23	0.18	0.25
PER(倍)	-	18.25	16.60	16.83	12.07
BPS(MYR)	8.23	8.75	8.32	8.47	8.63
PBR(倍)	0.50	0.50	0.46	0.36	0.35
配当(MYR)	0.16	0.15	0.11	0.09	0.11
配当利回り(%)	3.88	3.41	2.89	3.10	3.47

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) **0.09** (予想はBloomberg)

終値(MYR) **3.03** 2025/12/15

#### 会社概要

マレーシアを本拠とする投資持株・管理会社で、1965年にTan Sri Goh Tong氏が山頂リゾート開発を目的として創業。1971年に上場した。

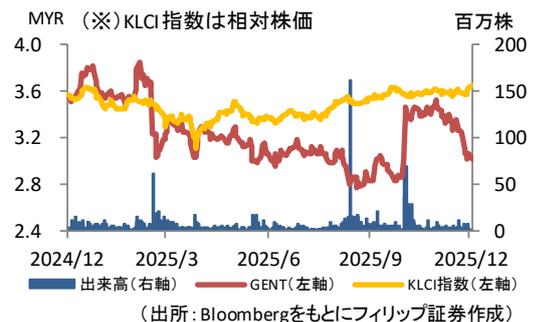
主力事業はレジャー&ホスピタリティで、ゲンティン・マレーシアを通じてマレーシアの統合型リゾート(IR)である「リゾート・ワールド・ゲンティン」を運営。シンガポールの「リゾート・ワールド・セントーサ」、米国の「リゾート・ワールド・ラスベガス」、英国・バハマなどの施設も展開。ゲンティン・シンガポールがシンガポール事業を担う。

そのほか、ゲンティン・プランテーションによるパーム油プランテーション(マレーシア・インドネシアで約24万ヘクタール)、ゲンティン・エナジーによる電力発電・石油ガス探査、不動産開発、バイオテクノロジーなど多角化。ユニバーサル・スタジオやヒルトンなどの国際ブランドと提携し、グローバルに事業を拡大。

本社はクアラランプールにあり、Tan Sri Lim Kok Thay氏が会長を務める。2025年現在、家族経営の伝統を維持しつつ、非家族CEOを初任命するなど変革が進む。持続的な事業運営を重視、アジアをあち評するコングロマリットとして知られる。

#### 企業データ(2025/9/9)

ベータ値	0.56
時価総額(百万MYR)	11,667
企業価値=EV(百万MYR)	51,877
3か月平均売買代金(百万MYR)	28.1



#### 主要株主(2025/9)

1.KIEN HUAT REALTY SDN BHD	43.82
2.CREDIT SUISSE	6.74
3.VANGUARD GROUP	1.55

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。